NPO法人 遠野エコネット

エコネット通信

VOL.28

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ：http://tono-econet.org/　　フェイスブックでも情報発信中！

タマゴタケの幼菌。

電気もガスもない森での3泊4日

夏のエコキャンプ2022 in 遠野

県内外15名の小中学生参加

毎年恒例の一大イベント「夏のエコキャンプ2022」を、8月8日(土)～11日(日)の3泊4日で開催。岩手県内を中心とした小中学生15名が参加し、附馬牛町の張山環境保全林(通称＝キャンプ村)にて、電気もガスも水道も無い大自然の中でキャンプをしました。

エコキャンプ開催に向けて、当会のスタッフと岩手大学の学生9名が、春から何度も打合せ会議をオンライン中心で行い、楽しみながら子ども達の成長に役立つプログラムを企画・検討してきました。また、スタッフは水辺の自然体験指導者養成講座に参加し、キャンプ会場での事前合宿を行うなど、安全対策についても準備万全で当日を迎えました。

４日間の充実したキャンプを終え達成感に溢れた参加者とスタッフ。

キャンプファイヤーで盛り上がる

参加した子ども達は、昨年までの経験者が10名と多く、初日の受付では再会した仲間やスタッフと、笑顔で近況報告する光景が見られました。初日は、アイスブレイクで交流した後に村会議。キャンプでのミッションやグループ分けが発表されました。そしていよいよ、キャンプ村での暮らしの準備。トイレの穴を掘り、石を組んでカマドづくり。テントを張って、ドラム缶風呂を設置したら、バケツリレーで水を入れて。

今年も猿ヶ石川で川下りもできました。

今年は、3つのグループ毎にカマドをつくり、それぞれにスタッフもついて野外料理をするスタイルに変更。早く食べ終わった班は、自由時間がとれるということもあり、これまで以上にみんな積極的に焚き木集めや調理に参加していました。

また、新たな試みとしてシャワークライミングも行いました。薬師岳から流れる滝川に移動して、子ども達は果敢に激流を登って行きます。途中の深みがある場所では、岩から飛び降りにも挑戦しました。

その他に、学生スタッフが企画したプログラムとして、森の宝物を探す「フィールドビンゴ」、草や木の葉を使って作る「民俗衣装づくり」。最終日には、杉の板をカマドで焼いて焦げ目をつけ、その後に磨いてキャンプの思い出を描く「焼き板クラフト」もできました。3日目の夜には、キャンプファイヤーをして、各自で作った民族衣装を身に着け、歌って踊って最後の夜は大盛り上がりでした。快晴に恵まれた4日間でしたが、最終日の終わりの会で、別れを惜しむ雨となりました。

シャワークライミングは子ども達に大人気。

森のようちえん「どんぐりのぼうし」　8/20(土)9/3(土)

８月はスタッフ家族も入れると６組の幼児とその家族が参加。この日は、森でのお散歩の他に、春に畑に植えて育ったジャガイモを収穫しました。収穫したジャガイモは、きれいに洗って包丁で輪切りに。その後、バーベキューコンロに炭を熾して天ぷら油でポテトチップスに。小さいジャガイモは丸ごとホイルに包んでホイル焼きにしていただきました。

９月は７組の家族が参加。スタッフも入れると27名となりました。先ずは、みんなで森へ出かけます。様々なキノコを見ていたら、ギンリョウソウという真っ白い植物を発見。ドングリがいっぱい落ちていて、ドングリ拾いもできました。ツルに乗ってブランコを楽しんだり、小川で遊んだ後は、森の中で「葉っぱ」の絵本の読み聞かせをしました。また、畑ではハクサイの苗を植えつけ作業を。最後には、ドングリや色とりどりの木の実を容器に入れた楽器づくりもできました。

森のようちえんでは、森の中で絵本の読み聞かせもします。

山仕事はじめの一歩（入門）講座　8/21（日）　9/11（日）

８月の参加者は13名。午前中は、薪の駅近くの実習林で草刈り機械による刈り払いの実習を行いました。参加者の中には、初めて草刈り機械を使う方も少なくないため、機械の説明や注意点を説明いただき、その後グループに分かれて刈り払いをしました。午後は、隣の杉林で間伐を実習しました。

９月の参加者は11名。場所は、薪の駅の南側にある実習林。最初に、間伐作業で必要となるロープと滑車の使い方を、実際に間伐する木を使って説明いただきました。その後グループに分かれて、間伐の実習。講座も中盤となり、チェーンソーの操作にも大分慣れて来たのか、上手に狙った方向に木を倒せるようになっていました。

８月の山仕事講座では、刈り払い機械の実習をしました。

９月の山仕事講座では、ロープと滑車の使い方を学びました。

森業倶楽部　8/28（日）9/25（日）

８月と９月の森業倶楽部は、上郷町の木暮工房の菊池光典氏を講師に、間伐材の木工の製作を行いました。作業前に８月は、木工をする上で必要となるノミや鉋の刃の研ぎ方を学びました。光典さんが持参した電動の砥石での研ぎ方や、一般的な砥石の選び方や、刃の当て方や力の入れ方など。見るのと実際にやるのは大違い。上手に研いだ鉋で、板を鉋がけして、その切れ味を体験できました。

９月は、木工家具製作に欠かせない木組みについて学びました。板と板を、どのように接合させるかは、作品の強度にも影響する大事な要素です。何を作るかにより、適切な木組みの方法を選ぶことなどを、参加者が描いた設計図を元に、講師の先生にアドバイスいただきながら進めていきます。

８月の森業倶楽部で、ノミの研ぎ方を習いました。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」　9/10(土)

９月の「おひさまのねっこ」は、市内の小学校で、新型コロナウイルス感染症で休校の学校があった影響もあり、今までにない数のキャンセルが続出する事態に。そこで、正式な活動としては中止と判断しました。それでも、せっかくの快晴だったこともあり、参加予定だった家の方に、「スタッフもいるから遊びに来てもいいですよ。」と連絡を入れ、２組5名の親子が参加しました。畑で草刈りをした後に、ホウレンソウの種まき作業をした後に、オッホーの森へ森探検に出かけ、木登りやターザン遊びを。ゆったりとした時間を楽しめました。

９月のデイキャンプ（特別編）でターザンをして遊ぶ子ども。

活動報告（８月～９月）

森楽倶楽部　8/６(土)

今年度２回目となるこの日は、暑さが厳しい時期ということもあり、涼を求めて薬師岳山麓にある又一の滝での自然観察を行いました。講師は今回も西和賀町で活動をしているカタクリの会代表の瀬川強さん陽子さんご夫婦。参加者は県内各地(遠くは普代村)からの４名。薪の駅に集合後、附馬牛町の馬止に車で移動。そこから又一滝までの登山道をゆっくり歩きました。この日は、セミの抜け殻を見つけては、オスかメスか、また検索シートで種類の特定方法も教えていただきました。大きなヒキガエルさんが現れたり、サナギタケ(冬虫夏草)という蛾のサナギなどに寄生する珍しいキノコも観察できました。帰り道では、白い卵から生まれたばかりの様な、真っ赤なタマゴタケも見つけれました。美味しいキノコだそうです。

８月の森楽倶楽部は、又一の滝へ行ってきました。

水源の森づくりプロジェクト　9/28(水) 9/29(木)

9月28日は、琴畑高原の遊々の森にて、今年5月にミズナラの苗木を植えた場所と、来年度以降に植樹予定地での刈り払い作業をスタッフ４名で行いました。その後、ドングリ拾いの下見とドングリ拾いをしました。また翌29日には、土淵小学校のドングリ畑で、昨年播いたドングリの状況を確認し、その後５年生９名と職員２名も参加して草取りを行いました。ドングリは３畝に播いたのですが、無事に成育しているのは僅かばかり。虫や鳥、野ネズミに食べられたのか原因は分かりませんが、対策が必要です。生き残った苗木の赤ちゃんを１つの畝に移植してまとめました。

琴畑高原に５月に植樹した苗木の周囲を刈り払いしました。

薪づくり倶楽部＆森の笠地蔵プロジェクト
8/7(日) 9/4(日)9/19(月･祝)9/25(日)

8月の薪づくり倶楽部は高校生を含めた14名が参加。朝のうちは雨が降ったため、薪の駅の屋根がかかった場所や、近くの森フェス会場となった森の中で薪割り作業を行いました。この日は、遠野市内で本格的な石窯によるピザ店の開業を予定している親子も参加し、薪割りに汗を流しました。

９月の薪づくり倶楽部の参加者も14名。今年度の山仕事講座受講生も参加し、チェーンソーの使い方をスタッフに指導を受けながら、丸太の玉切りを頑張りました。

秋が深まると共に、昨年度からスタートした「森の笠地蔵プロジェクト」も本格的なシーズン幕開けです。９月は19日と25日の２日間で、ボランティア参加者とスタッフのべ10名で薪づくり作業もできました。まだまだ、薪が不足している状況なので、今後も、定例の薪づくりはもちろん、その他の祝日を中心に薪づくりをしていきます。皆様の参加協力をお願いします。

９月の薪づくり倶楽部。女性参加者も活躍中です！

森の笠地蔵プロジェクトでは、ボランティア参加者も薪割り。

間伐倶楽部　8/27(土)

８月の間伐倶楽部は、スタッフ合わせて5名の参加者で、今年度から手入れを始めている松崎町駒木の杉林で間伐作業を行いました。この日は、山仕事講座受講生の女性参加者もあり、なかなか山仕事講座に参加できないため、間伐倶楽部に来ました。この日は過去の山仕事講座受講生も参加。しばらく間が空いてしまうと、せっかく学んだことも忘れがちになります。山仕事は、経験の数が物を言う世界。様々な機会を見つけて、チェーンソーのエンジンをかけるのをお勧めしています。また、９月の同倶楽部は雨のため中止となりました。

８月の間伐倶楽部にて、ロープワークを学ぶ参加者。

主な活動の予定（10月～11月）

月日	タイトル	内容	活動場所
10/1(月)	森楽倶楽部	秋の森の自然観察・キノコ料理	松崎実習林他
10/2(日)	薪づくり倶楽部	薪づくり	薪の駅
10/3(月)	水源の森づくりプロジェクト	ドングリ拾い、ドングリ播種	琴畑、土淵小学校
10/8(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」	森探検と稲刈り	オッホーの森他
10/9(日)	山仕事はじめの一歩（入門）講座	造材（枝払い）、間伐実習	松崎実習林他
10/15(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ、稲刈り他	オッホーの森
10/16(日)	森フェス・スタッフ反省会	森フェスの反省と今後検討	松崎実習林
10/21(金)~22(土)	みちのく薪びと祭りin三瀬	東北の薪づくり団体の交流	山形県鶴岡市三瀬
10/22(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
10/22、10/29(土)	「すっぴん土曜日」放送（代表千葉）	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
10/23(日)	森業倶楽部	ツル・樹皮細工	薪の駅
11/5(土)	森楽倶楽部	晩秋の森の自然観察	松崎実習林他
11/6(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
11/12(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」	森探検と稲の脱穀他	オッホーの森
11/13(日)	山仕事はじめの一歩（入門）講座	間伐、枝打ち	松崎実習林他
11/19(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ、畑の収穫他	オッホーの森
11/26(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
11/27(日)	森業倶楽部	間伐材の木工	薪の駅

森の笠地蔵プロジェクト2022

「自力で薪を調達するのが困難となった高齢者のお宅に、間伐材の薪を無料で配達しよう！」と、昨年度から始まった「森の笠地蔵プロジェクト」。のべ19軒に軽トラックで55台分の薪を配達し、また、そのお宅で薪に割れない丸太での薪割りや、薪ストーブの煙突掃除・交換作業も行いました。

秋の深まりと共に、薪ストーブの季節がやってきます。今年度も、遠野市社会福祉協議会と協力しながら、高齢者宅への薪の配達を開始します。

また、今年度の新たな試みとして、「ひきこもり対策」も始めます。近年、様々な理由で社会生活に馴染めず、家庭内に閉じこもる人が増えています。そんな方に、薪割り体験をさせれないかと考えました。玉切りした丸太を、斧を振り下ろし割れた瞬間は、何とも言えぬ快感で、ストレス解消には最高です。薪割りで「うつ」が改善したという話も聞いています。

自分が割った薪が、高齢者のお宅に運ばれ、暖かな冬を過ごすのに役に立つ。薪を通じた小さな心の交流から絆が生まれ、新たな可能性を育む役に、少しでもなれたらと考えています。

昨冬の高齢者宅への薪配達。とても感謝されています。薪割り・薪配達ボランティア大募集中です！

【編集後記】

デイキャンプや森のようちえんで、子ども達と森を歩いていると、ステキな発見がいっぱいあります。

上の写真は、ザトウムシがバッタを運んでいるところです。その足の長さから「足長おじさん」と呼んでましたが、その足の長い理由が、この時に初めて分かりました。あの小さな体で、自分の何倍もあるバッタを運ぶには、足で獲物を浮かせて運ぶ必要があったのですね～！自然界には、まだまだ不思議な魅力がいっぱいあります。みなさんも、森へ遊びに入らして下さいませ。（千葉）

発行:NPO法人遠野エコネット
令和４年10月11日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax　0198-64-2250
E-Mail:pahaya@tonotv.com